

ビデオナービズネットとは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

📷 1月WEB会議のご案内

「オンライン総会」、「会費納入のお願い」

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

次回WEB会議は

2021年1月18日（月）15時～16時を予定しております。

年始めのWEB会議では、恒例の「総会」、「役員選出」、「会計報告」、「2021年の活動計画と意見交換」を行います。意見交換では、プラス思考で楽しく、元気で、面白い意見お待ちしております。

まったくおさまりを見せないコロナに対して、負けない気持ちを持って、会員同士助け合って乗り切っていきましょう。

委任状メール送付のお願い

1月18日のオンライン総会を欠席される方は、高橋さん（syosan-t@nifty.com）宛に、以下の内容のメールをお送りください。

「私は、2021年ビデオナー・ビズネット総会において、総会の議事・議案に関する一切の権限を会長に委任します。」

会費納入のお願い

2021年会費12,000円（2021年1月～12月分）を、2月末日までに下記振込先までお振込みください。

振込先

口座 みずほ銀行 小田原支店

番号 普通2808721

名義 ビデオナービズネット 高橋昌一

👥 11月・12月のご報告

「各会員の近況報告」

11月9日（月）、12月23日（水）にWEB会議を、12月29日（火）にオンライン忘年会を開催しました。

各会員からは、年末を中心として1年を総括した状況の報告がありました。

「撮影がほぼ全滅になった月があった」

「イベントを分割で開催するところが多く、乗り切るのが大変だった」

「イベントが減少した分、納品する映像に対するクライアントの要望が増えた」

といった大変さが増えたものから

「ピンチはチャンスと思って頑張ったので、10月～12月で十何回撮影しました」

「SNSを使って撮影助手の営業をした。基本依頼がきたら断らない方針でいきました」

「12月は結構仕事があった感じで、1月以降もありそうで、パソコンの容量が足りなくなりそう」。

などの元気がでる報告もありました。

以上敬称略

文責：脇田

✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記（12）」

が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2021.1月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

新年あけましておめでとうございます。

昨年はお世話になりありがとうございました。今年もどうぞよろしく願いいたします。ちなみに年末はほぼステイホームで、年始もその予定です。

(なお三年ほど前から年賀状はおしまいになりました。もし、失礼・ご無礼なことがありましたらお許してください)

コロナ禍の昨年でした。明けての 2021 年は収束に向かうのか、あるいは渦中が続くのか、正直、僕などにはわかり得ません。ただ昨年は何かと考えさせられる機会が度々あり、必然、物事をいつもよりは多少なりとも深く掘り下げて見るものが多くはなっていました。それは、一口で言えば、「小田原地区を中心として開業 17 年目、“我が街のビデオ屋、としてのあらたな俯瞰」でした。

昨年は緊急事態宣言あたりから、行事撮影を中心に中止や度重なる変更も、何とか力技的にこなし続けてはいた一方で、ビデオ稼業の役割をあれこれと考えていました。特に需要と供給における顧客と業者の関係性には、お互いに、目先になる対価のやりとりだけで完了させてはいけない事もあるかも知れないと、気付いた点です。

それはどれも大切重要な、顧客・機材・技術・協力者の他にあらためて「街の」のフレーズをことさら意識したことです。この「街の」のフレーズは案外便利で、つい目先に偏りがちな視線を足元と数年先とにも目をやることを促してきました。正直、「今頃気づいたの？」というのが実感です。

当然同じビデオ稼業であっても自由に、考え方もそれぞれ、地域差もそれぞれ、ターゲットもそれぞれ、視点もそれぞれだろうけど、多くの人が備えているはずの遠中近汎用の目ん玉は時々動かしてみるのも面白いと思います。当たり前ですが、見える景色もそれぞれだとは思いますが。

よっしーのお手伝い日記 (12)

アソシネット株式会社 吉岡

2020 年の総括的な話を。

2020 年 12 月 13 日、赤岡さん(赤岡ビデオ企画)の、和太鼓の撮影を予定していましたが、新型コロナの影響で、もう一件、幼稚園の発表会がずれて重なりました。そこで、片方を赤岡さん、片方を私、一人ずつ、ということに。

どちらの現場も、赤岡さんと何度か同行していて、段取りや撮影方法はだいたい把握できているかな。私は、幼稚園の発表会の担当になり、とりあえず、前回の DVD を事前にもらって、カメラのチェックをしました。3 台のカメラで臨むことに。1 台はメインで動かすカメラ、1 台は引きのカメラ。もう 1 台はメインの補助で、舞台上で子供がわかれたときに、片方を映す。

満点の仕事は、なかなか できないだろうけど、それでも、急な予定変更でも、一つの現場が対応できたことは、やっとビズネットへ協力ができるようになったんだなと感じる。今年は、同様の予定変更で、高橋さん(ゆうばりビデオグラファー)の現場とか、一人で撮影の対応は いくつかありました。

いつも、お手伝いをしていて考えるのは、自分だったら、この現場をどう仕上げるか、ということ。答えはすでに目の前にあるので、いかに自分の機材で近いことができるか。現場に足を運ぶと、どこに気を使っているのか、お客さんとの距離感もわかる。なので、お手伝いというよりは、シミュレーションに近い。

その取り組みが 2020 年、だいぶ役に立った。

交代要員としては、お客さんに顔を通しておく。丁寧に挨拶をして、印象を良くしておく。

あと、菅澤さん(デジタル工房こまち)の現場で、音声の収録をいろいろ試せた。いつかやってみたいと思っていた、ピアノの台の中にマイク 2 本を突っ込み、至近距離(っというのか?)でステレオ録音。

この時は、三点吊りマイクを用意してもらえず、ステージ前に自前のマイクを置いた。MC マイク(歌も)はもらったので、ピアノ・ステージ前・MC マイクを必要に応じてミックスしながら、音を仕上げた。あらかじめイメージトレーニング(?)をしていたが、実際、まあよくやれたな、と。菅澤さんの編集も完璧だった。リンクを貼っておきますので、お手すきの時に見てみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=5HHPmLjnMGI&t=429s>

<https://www.youtube.com/watch?v=onAjrLnxaUA&t=193s>

<https://www.youtube.com/watch?v=WU-xPNKh1pE&t=1145s>

<https://www.youtube.com/watch?v=vS9pzWg21QE&t=397s>

<https://www.youtube.com/watch?v=zHHcwJI-474>